

第28回 民族藝術学会大会プログラム

4月21日 (土)	9:45~11:30	オブショナル・ツアー1 「大阪城の石垣 —その特徴を現地に探る」(雨天の場合は天守閣内の見学となります) 解説 渡辺 武 (元大阪城天守閣館長) 大阪城大手口土橋西詰、観光案内板付近に9:45集合 (大阪歴史博物館前・道路対面側) ※ツアー参加者はお弁当を予約ください。
	11:00	受付開始 大阪歴史博物館4F
	11:45~12:30 12:30~13:00	理事会 大阪歴史博物館1Fレストラン「スターアイル」 評議員会 大阪歴史博物館4F第3会議室
	12:45~13:00	オブショナル・ツアー2 大阪歴史博物館「日欧のサムライたち —オーストリアと日本の武器武具展」の解説 4F第1研修室 ※歴史博物館見学希望の方はご自由に参加ください。
	14:00	開会の辞 大会実行委員長 4F第1研修室
	14:00~16:00 14:00~14:30 14:30~15:00 15:00~15:30 15:30~16:00	「コレクターの夢」 基調講演 4F第1研修室 収集の美学 —安宅英一の場合 伊藤郁太郎(陶磁史) 嘉納鶴翁と古美術蒐集 田中敏雄(美術史) 収集家山本発次郎 河崎晃一(現代美術) 梅村忠夫のコレクション精神 小長谷有紀(文化人類学)
	16:00~16:30	総会、第9回木村重信民族藝術学会賞授賞式 4F第1研修室
	17:30~19:30	懇親会 於:KKRホテル大阪 3F「曙」
	4月22日 (日)	10:00~12:00 10:00~10:30 10:30~11:00 11:00~11:30 11:30~12:00
12:00~13:00		昼食休憩
13:00~16:15 13:00~13:30 13:30~14:00 14:00~14:30 14:30~14:45 14:45~15:15 15:15~15:45 15:45~16:15		一般発表(第1分科会) 4F第1研修室 「天工開物型」腰機の系譜と展開 内海涼子(染織) 始原的織り技法 —中国・舟溪苗族民族の背負い帯を事例に 鳥丸知子(染織) エチオピア・アムハラ織機と織技術 —その利用と展開 板垣順平(染織) 休憩 紅白梅図屏風 流水硫化銀説に対する疑問 野口 康(箔) 東ネパール・ルムジャタル村における羊毛織物のフェルト化について 上羽陽子(民族芸術学) 天王寺楽所と舞楽 —主として右舞について 出口実紀(音楽学)
13:30~16:15 13:30~14:00 14:00~14:30 14:30~14:45 14:45~15:15 15:15~15:45 15:45~16:15		一般発表(第2分科会) 4F第2研修室 1920~30年代南アフリカ・グリクワの人々の共同体再建運動と合唱の果たした役割 —機関紙「グリクワとカラントの人々の見解」の分析から 海野るみ(文化人類学) 英国に息づく、南インド、ケーララ州のカラリパヤットKalarippayattu 高橋京子(染織) 休憩 バリ島の鉄製鍵盤打楽器「スロンディン」の文化的位置づけ —分布地域の立地条件および歴史資料からの考察 野澤暁子(民族芸術学) インドネシア現代美術の〈場〉と多様化するアクターたち —『VISUAL ARTS』の記事を事例に 廣田 緑(現代美術) 近代広告の誕生と大阪 —万年社コレクションから見る広告デザインの黎明 竹内幸絵(デザイン)
16:15		閉会の辞(第1研修室、第2研修室)

(舞踊)